

# 先進事例として 台湾DV防止法

データDV防止全国ネットワーク理事 長安めぐみ

台湾はアジアで  
初めてDV防止  
法を制定した国

1998年制定→日本の配偶者暴力防止法は2001年

謝辞：本日の発表資料は、台湾 NGO The Garden of Hope の協力を得て、予防教育の普及をはかる本ネットワークが疑問に思った質問に対して回答していただいた内容をまとめたものです

## 台湾 家庭内暴力防止法 59 条

各官庁にはDV防止のトレーニング  
を独自の方法で提供する義務がある

- ・警察：家庭内暴力防止に関する現場教育を警察署員に提供
- ・社会行政主務当局：ソーシャルワーカー、保育士、ディケアプロバイダーなど社会行政要因に家庭内暴力防止に関する実地教育を提供
- ・法務院と法務省：関連する司法職員に家庭内暴力防止に関する実地教育を提供
- ・保健 所管官庁：医療機関が医療従事者に家庭内暴力防止に関する実地教育を提供
- ・移民 所管当局：移民職員に家庭内暴力防止に関する実務教育を提供
- ・教育 所管当局：指導カウンセラー・管理職員・教師・幼稚園教諭  
・学校や幼稚園の生徒に家庭内暴力防止に関する実地教育を提供

\*台湾のすべての子どもたちに防止教育がなされている



- 教育プログラムの開発と講師登録
- **全国的に統一された教育プログラムはありません。**これらは、教師・インストラクター・学校・N G Oによって開発されており、教材は、ソーシャルワーカーが地元の学校で講師になる際に、使用されている。
  - 学校は、適切であるとみなす組織（N G O）や個人を選択するか、**教育省の承認を受けたデータベース**にリストアップされたプログラムのインストラクターを選ぶことができる。 \* N G Oとの適切な連携がなされているところが特徴です
- 情報提供：台湾 The Garden of Hope

# 教材と事業計画の例の提供

・**教育省から台湾のすべての学校への統一されたプログラムはありません。**ただし、教育省および地方自治体のほとんどの地方教育局は、DV予防教育のトピックに関する**教材と授業計画の例を、ウェブサイトのデジタルバージョンで提供**しています。学校の教師やスタッフは、これらの資料を使用して、生徒向けの独自のトレーニングプログラムを設計できます。

情報提供：台湾 The Garden of Hope

**デジタル教材と授業計画の例**

<https://www.gender.edu.tw/web/index.php/m5>

**健全な恋人関係を考えさせる動画**

<https://www.youtube.com/watch?v=Q84MicPuQQw>

**教材を活用した授業計画例**

<https://www.gender.edu.tw/web/upload/m5/>



**16歳から19歳のデートDV被害者は、家庭内暴力防止法第63条に従って、保護命令を裁判所に請願できます。**

- 仲介人を通じて書かれた請願書は
  - a.警察署や警察局を通じて
  - b.司法局のウェブサイトからオンラインで
  - c.裁判所の家庭内暴力防止サービスセンターで
  - d.親が法定代理人になることもできる

\*保護命令または関連する手続きの申請は無料

情報提供：台湾 The Garden of Hope



### 一般的なDV神話

これらを信じる人はDV問題を解決することができません

- (1) **暴力は被害者に責任があるので、第三者は気にしません。**
- (2) 教育レベルが低いか、経済状況の悪い人たちだけがDVの加害・被害者です。
- (3) **加害者は非常に卑劣で、愛情がない**ように見えます。
- (4) 加害者と被害者はお互いを憎むもので、**彼らの間に愛の感情はありません。**

情報提供：台湾 The Garden of Hope

# 台湾のDV防止法の改善点はありますか

システムの抜け穴を減らすために、防止基準をより徹底的に改善する必要があります。

## DV防止システムの抜け穴として

- (1) **同性の配偶者の権利**が異性の配偶者と等しくなるように
- (2) ソーシャルワーカーは被害者が受けたい場合にのみサービスを提供できますが、**差し迫った危険にさらされている家庭内暴力の被害者**または他の法的規制に基づいてサービスを受ける人は、それに従って処理されます

\*深刻な被害を早期に発見することがコストを抑えることにつながる

台湾と同じく  
すべての子どもたちにデート  
DV防止教育を

ご清聴ありがとうございました。